

2014ふゆトピア・フェア in 釧路

— 自然あふれる冬の魅力を

“道東” から発信！ —

除雪機械展示・実演会

平成26年1月23日～24日

平成26年1月23日（木）～24日（金）の2日間にわたり、北海道釧路市において「2014ふゆトピア・フェア in 釧路」が開催されました。

「ゆきみらい」は、昭和61年から北海道、東北、北陸で巡回開催されておりますが、北海道での開催は「ふゆトピア」と名称変更されるものです。その中のメインイベントの一つであり、当協会が主催する「除雪機械展示・実演会」は、除雪機械の最先端技術や除雪事業の重要性を広く一般の方に紹介するものです。昭和36年度に青森市で第一回を開催してから、今年度の開催で66回目となる大変歴史のあるイベントです。

表-1 展示機械一覧表

出展企業	出展機械名	規格性能等
日野自動車(株)	凍結防止剤散布用シャシ	GX7JGAA GAX
(株)日本除雪機製作所	ロータリー除雪車	HTR407
	小型除雪車	KBR105
	凍結防止剤散布車	NWS25SS5
(株)協和機械製作所	スーパー除雪車	SCB-250FA
範多機械(株)	凍結抑制剤散布車	MS-20MGH(T)
	汚泥吸引装置	VL-26
	手押し式散布装置	MS-01D
名古屋電機工業(株)	散光式警光灯	XB52-A2B000他
新潟トランス(株)	ロータリー除雪車	NR143
UDトラックジャパン(株)	除雪専用車	CZ(ATM)
(独)土木研究所寒地土木研究所	氷板・圧雪路面処理装置	
	連続路面すべり抵抗値測定装置	

表-2 ふゆトピア開催スケジュール

	1月23日(木)	1月24日(金)
ふゆトピアシンポジウム	14:00~17:00	
ふゆトピア研究発表会		9:30~16:30
ふゆトピア展示会	10:00~17:00	10:00~15:00
除雪機械展示・実演会	10:00~16:00	10:00~15:00
競技会(第2回除雪車チャンピオンシップ)	13:00~15:40	

◇「除雪機械展示・実演会」会場の模様

「除雪機械展示・実演会」の会場は、釧路川河口に懸かる幣舞橋を望み、十分なスペースのある「釧路港耐震旅客岸壁」で開催されました。

また、隣には「ふゆトピア展示会場」があり、両会場を行き来する見学者の利便性が高く、集客面でも大きな相乗効果が感じとれました。



写真-1 広々とした展示会場の模様

◇開会式

未体験の気温マイナス19度（事務局外の寒暖計表示）、抜けるような青空の下で、当協会の社会長や国土交通省総合政策局公共事業企画調整課岩見安全企画室長、北海道開発局小松機械課長、釧路市都市整備部長、日本除雪機製作所(株)などの方々によりテープカットが行われました。



写真－2 開会式（テープカット）の様様

◇展示機械の様様

展示機械は表－1にあるように、ロータリ除雪車や除雪トラック、凍結防止剤散布車などの最新の除雪機械が出展されておりました。

日本の除雪機械は、官民による長年の開発努力の結果、性能レベルは世界トップクラスにありますが、それらを一同に観ることができ大変意義深いものでした。

そんな中でも、国道除雪の主力機種である除雪グレーダや市町村道路除雪の主力機種である除雪ドーザの展示がなく、少し寂しい感もありました。

また、寒地土木研究所から出品されていた「氷板・圧雪路面処理装置」は、40年以上も前に北陸地方で活躍し、現在は姿を消した「氷板破碎装置」を彷彿させ大変興味深いものでした。

以下に展示機械の様様をご紹介します。



写真－3 日野自動車(株)



写真－4 (株)日本除雪機製作所



写真－5 (株)協和機械製作所



写真-6 範多機械(株)



写真-9 UDトラック(株)



写真-7 名古屋電気工業(株)



写真-10 (独) 土木研究所寒地土木研究所



写真-8 新潟トランス(株)

◇実演会

実演会では、1社1機種による実演会が開催されておりました。今年の釧路市は記録的な小雪のため、実演会用の雪集めに事務局がご苦労されたと伺いました。来年度の北陸開催においても、積雪の少ない中での開催も想定されますが、経済性や時代の背景等を考慮して、効果的・効率的なイベントへの変革時期にきていると感じられました。

◇除雪車チャンピオンシップ

展示会1日目には除雪オペレータの熟練技術を競う「除雪車チャンピオンシップ」が開催されま

した。これは、実際の除雪作業に従事するオペレータの方々が、図-1に示すコースに合わせて除雪ドーザを運転し、タイムや技量を競うものです。多くの展示会参加者が見守る中で、熱気あふれるチャンピオンシップが繰り広げられ、会場を盛り上げておりました。

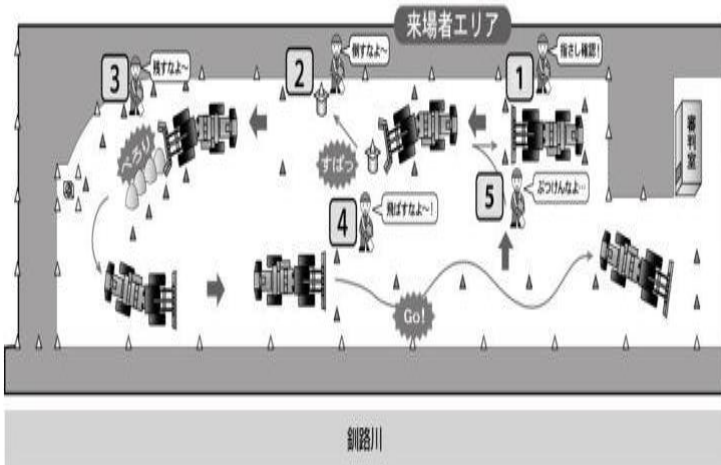


図-1 「除雪車チャンピオンシップ」コース図



写真-12 「除雪車チャンピオンシップ」の様様

◇「ふゆトピア展示会」

「除雪機械展示・実演会」会場に隣接した釧路市観光国際交流センターにおいて「ふゆトピア展示会」が開催されておりました。展示内容は冬の生活を守る消融雪技術や ICT 技術などとなり、当協会北陸支部会員の(株)興和のブースも見られました。

また、除雪作業に従事する人たちの苦勞をわかりやすく漫画化した、「当協会の「除雪車によるしく」が来場者の関心を集めていました。

一方、冒頭にも述べたように、「除雪機械展示・実演会」と「ふゆトピア展示会」の会場が隣り合わせとなっており、特に北海道以外から参加している関係者等の集客に、大きな相乗効果をもたらしているように感じました。(参加者が両方観るのに非常に楽で、時間も効率的に使えます)



写真-13 JCMAの「除雪車によるしく」パネルの展示

◇おわりに

かつての「除雪機械展示・実演会」は20社・70機種を超える展示で大変な賑わいでした。

最近では、9社以下・20機種程度の参加が定着しつつあり、そのあり方や実施方法を再構築する時期にあるのではないかと思います。

最後に、次回の北陸開催(長岡市)にむけて、以下に、今後の方向性を提案します。

- ①「ふゆトピア展示会」との隣接開催は不可欠
- ②実演会に変わる仕掛け・イベントが必要
 - 除雪施工法の展示・研究会の開催
 - 除雪が地域社会を守ることのPRの場
 - 地域住民の参加を促すイベントの実施